



西高新聞

NAGASAKI NISHI INFORMATION

第287号

令和5年5月31日 発行

編集責任者 初村 一郎

http://www.nagasaki-nishi.ed.jp

信頼され続ける学校 学びがいのある学校 居場所のある学校

校長室から

「精悍^{かん} 執念 鍛練」

校長 初村 一郎

こんにちは。いよいよ高総体が間近となりました。ようやく今年はコロナ前に近い形での開催となり、生徒諸君はやる気をみなぎらせて、毎日練習に励んでいるものと拝察します。この祭典に向け、ますます気持ちを奮い立たせ、心が凜とする話題はないものか。

私の頭に浮かぶのは、「小さな大横綱」として国民の人気を博した元横綱千代の富士。私は、その技の美しさと圧倒的な強さに憧れを抱いた世代の一人です。この横綱ほど、『精悍・執念・鍛練』という言葉が似合う人はいないと、つくづく思います。当時、その取組を見ては魂を揺さぶられていた自分を思い出します。

生徒諸君には世代が違って馴染みがないかもしれませんが、ぜひ、その生き様に共感し、悔いの残らない戦いをしてきてほしいと願い、以下にしたためます。

千代の富士といえば、小兵ながら筋肉質の体。汗を滴らせた顔は精悍そのもの。「ウルフ」の愛称で人気を集め、31回の優勝を支えたのは勝利への執念。苦手としていた元大関琴風とのエピソードが、私には特に印象に残っています。千代の富士は琴風の部屋へ、30番40番負けても負けても稽古に出向き、何日もそれを続けたといいます。琴風は、それから11連敗。勝てなくなったと語っています。

一方、千代の富士は、肩の脱臼等、度重なる怪我に苦しみました。大変身させたのが筋力トレーニング。腕立て伏せや厳しい鍛練で、肩の周りを筋肉の鎧で固め、鋭く踏み込んで左前まわしを引き、一気に勝負に出る自分の型を作り上げて、横綱への道を切り開きました。

千代の富士の弟弟子で元横綱北勝海の八角理事長は、次のように話しています。「弱音を吐かず、何事に対しても絶対勝つんだという精神力がとてつもない人だった。勝負に勝っても、また次の勝負に勝つんだという食欲は見習うところがたくさんあった。幕下の頃から毎日稽古をつけてもらって、力を抜いてくれなかった。それがありがたかった。私も弱音を吐かずに毎日ぶつかかった。」

千代の富士の師匠で元横綱北の富士勝昭氏は、「素晴らしい弟子に恵まれた。豪快だけど繊細。口は悪いけど腹はそれほどでもない。涙もろくてね。」、菅義偉前首相は、「国民から親しまれ、体格は小柄だったが圧倒的な相撲を取っていた。横綱の中の横綱だった。」と述べています。

逆境にも弱音を吐かず、度重なる肩の脱臼を乗り越え、負けん気の強さと並外れた闘争心が土俵人生を支えていたのだと思います。今の時代、『精悍・執念・鍛練』という言葉が鳴りを潜めているように思います。言葉でなく全身で語ってくれた勝負師の精神を、この時代だからこそ胸に携え、子どもたちと向き合っていきたいものです。

生徒諸君には、心意気確かに、威風堂々、高総体を戦ってきてほしいと思います。燃えろッ！

スマートフォンに関する安全モラル講話 4月25日(火)

長崎警察署よりスクールサポーターの川口肇様を講師にお招きして、「インターネットにひそむ危険性」という演題で、スマートフォンに関する生徒向けの安全・モラル講座を実施しました。

今回の講座では、①SNSを起因とした事犯の児童生徒の被害・加害、②ネットの特性の理解不足によるトラブルという2つの観点から、具体的なデータや事例に基づき、身近な通信機器に潜む危険性についてわかりやすく説明していただきました。

「ネット依存は病であること」、「スマホの長時間使用は確実に成績に悪影響を及ぼすこと」、「スマホ・ネットトラブルの解決の困難性」など、その甚大な害について生徒達も真剣に受け止めたようです。ご家庭でも、スクリーンタイム機能などを参考にゲームや通信機器との安全な付き合い方について、お話をさせていただきますようお願いいたします。

【自律育成部主任 前田 敦広】

歓迎遠足 4月28日(金)

天候にも恵まれ、4年振りに歓迎遠足が行われました。稲佐山公園まで2時間ほどを要しましたが、多くの会話が交わされ、笑顔に満ちた賑やかな道中となりました。到着後は対面式、歓迎行事が行われました。歓迎行事では、新転任の先生方のクイズやメドレーダンス、ギター部、音楽部、吹奏楽部のパフォーマンスが披露され、生徒会役員によるレクリエーションも催されました。その後の自由時間では学級・学年単位での交流も図られ、全体を通して遠足の目的である「新入生の歓迎と新クラスの親睦を深める」ことが見事に達成されていました。

歓迎遠足は全校生徒による初めての行事でしたが、「チーム西高」の良いスタートになったと感じています。

【自律活動部 樋渡 彩音】



第26回定期演奏会 4月29日(土)

音楽・ギター・吹奏楽部の定期演奏会を長崎ブリックホールで、入場制限なしで開催しました。生憎の、春の嵐の”昭和の日“でしたが、昭和をほうふつとさせる懐メロや、それぞれの部のレパートリーから持ち前の得意な曲を持ち寄って、2時間余りのコンサートができました。ロビーでは書道作品の展示、進行・撮影は、放送部と、文化部競演の催しに300名を超すお客様をお迎えできました。次回は令和6年3月16日の予定です。1年間いろいろな曲を練習して成果を発表したいと思います。たくさんのご来場ありがとうございました。

【吹奏楽部顧問 麻生 今日子】

令和5年度 進路研修会 5月2日(火)

5月2日(火)に、教職員を対象として「令和5年度進路研修会」を開催しました。前半では、ベネッセコーポレーション九州支社より高岡様はじめ3名の講師をお招きし、「Classi」を活用した進研模試・実力テストの事前対策及び事後振り返りの指導に関する研修を行いました。今後は、特に1年生を中心に、進研実力テストに向けてWEB上で目標設定を行い、試験範囲や出題内容・過去問に関する情報を収集することができます。また、答案・成績票返却後も、WEB上で生徒一人ひとりの結果に応じた復習問題が提供され、得点状況に応じて振り返りを行うことができます。今年度より本格的に導入していく予定です。後半では、昨年度の入試結果の総括を行うとともに、今年度の学校全体としての進路指導に関する目標設定を行い、教職員全員で目線合わせを行いました。各学年ともに中間考査も終了し、いよいよ学習が本格化していきます。昨年度同様に、今年度も生徒一人ひとりの進路希望に応じた進路指導を行っていただけるように、教職員一同連携して取り組んで参ります。保護者の皆様のご理解とご協力よろしくお願いいたします。

【進路指導主事 福岡 圭三】

防災避難訓練 5月17日(水)

5月17日(水)に長崎北消防署から査察指導係の松本様、大塚様をお招きして、防災避難訓練を実施しました。今回は出火場所を調理室に、避難場所をグラウンドに設定して、予定どおり実施することができました。生徒たちは真剣な態度で訓練に臨み、迅速な避難行動をとることができました。また消火器での初期消火訓練を消防署員の指導のもと実施することができました。最後に松本様から、「災害時には、自分自身や家族の命を守る自助をはじめ、近隣住民どうしで互いに助け合う共助や、国・都道府県・市町村が行う災害対応である公助を組合せることが大切」との話がありました。生徒たちには今回の訓練を参考にして、日頃から災害発生時の避難経路を確認して自助を実現するとともに、友人や地域住民とも相互に関わりをもって共助を構築することを強く意識してほしいと思います。

【自律育成部主任 前田 敦広】

書道部 引退パフォーマンス 5月22日(月)

昼休みに書道部3年生による引退書道パフォーマンスを行いました。天気にも恵まれ、そして観覧の制約なく実施ができ、多くの生徒に見てもらうことができました。3年間の思いと、これから高総体や受験などに向けて一緒に頑張っている仲間への思いも込めて、航海図をイメージした紙を作り、言葉や選曲も3年生で考えました。これまで支えてくださった方々ありがとうございました。



【書道部顧問 嶋田 弘子】

生徒会役員選挙 5月23日(火)

令和5年度前期生徒会役員選挙が行われました。全校生徒が第一体育館に会して立会演説会を実施するのは実に4年ぶりでした。立候補者は、タブレット端末を用いながら分かりやすく演説するなど、各自工夫を凝らしながら熱い想いを伝えていました。どの立候補者も本校のことを真剣に考え、「西高をもっと良くしたい」という思いが見えました。選挙管理委員会の協力もあり、投票の結果、新生徒会長の2年1組道山優香さんをはじめとする10名の新生徒会役員が誕生しました。新生徒会役員は、5月30日(火)に校長先生から正式に任命され、今年度10月末まで活動する予定です。選挙管理委員長の立山莉菜さん(3年2組)の言葉にあったように、今回の生徒会役員選挙を通して、生徒会役員だけでなく多くの生徒が、選挙や政治について考え、関心をもつきっかけになればと思います。新生徒会の活動にご協力よろしくお願いいたします。

【自律活動部 岩本 清】



学年だより

第1学年

— 自律 —

先日、知り合いのF氏から連絡をもらいました。要件は「本を一冊上梓したので、読んでくれたまえ。」とのことです。後日、F氏からその著書が自宅に届きました。F氏は高校の国語科教諭の先輩です。校長先生も歴任されたF先生ですが、ご自分の教師生活を振り返り、その集大成としてこの書物を編集されたようです。長崎西高校の卒業生でもあるF氏は、高校とはどんな場所であるべきか、また学びの本質とは一体何なのか自身の経験に基づき、丁寧に述懐されていました。

さて、このF氏の提言の中に、「自律して生きる」とは一体どういうことなのかというテーマがあります。本校卒業生らしい問題意識です。78回生の皆さんは4月から本校に入学し、「自律」の実践およびその体得に励んでいます。高校は中学校と比して、自由なところもあれば、そうでないところもあるのかもしれませんが。いずれにせよ西高生はみな「自律」の体現者です。幾世代にも渡って語り継がれる西高の「自律」。これは西高生の永遠のテーマと言えると思います。78回生の皆さんはまだ入学したばかりです。失敗を恐れる必要はありません。いいと思ったことにどんどん挑戦し、自分のものにしてください。「自律」の具現者たる皆さんの成長を心から期待しています。

【第1学年主任 石橋 可巳】

第2学年

— 部活動と学習の両立 —

先日開催されましたPTAに参加していただいた保護者の皆様、どうもありがとうございました。

中間考査も終了し、いよいよ高総体が迫ってきました。選手として出場する生徒は全力を尽くして頑張ってください。

部活動と学習の両立について考えてみます。まず一番大事なのは「授業に集中する」ということです。1日のうち、一番長いのは授業を受けている時間です。「この時間内に理解する」という強い気持ちを持ち、集中できるかどうか勝負です。睡眠時間を削って家庭学習をし、授業中は眠くて仕方がないというのでは本末転倒です。

授業中の理解をはかるために予習が必要になります。ポイントは時間をかけすぎないこと。わからない部分が明確になる程度で十分です。そして肝は、復習です。その日のうちに、少しでも復習すると定着がはかれます。まとまった時間を取ることも大切ですが、ちょっとしたスキマの時間を利用して、学習する習慣を身に付けてください。平日2.5時間、休日5.0時間の学習をめざし、部活動と学習の両立をはかってください。

【第2学年主任 宗田 将平】

第3学年

— 頑張れ!76回生 —

先日は、お足元の悪い中、学年PTA・学級懇談会に多数ご参加いただきありがとうございました。全体では各担当より説明をいたしました。受験に向けては、課外や模擬試験の予定、出願等含めた受験スケジュールをご確認ください。また、志望校などの個別の内容につきましては、担任にご相談ください。

さて、校内では中間考査が終わり、各部活動で高総体や各種コンクール・発表会に向けて追い込みをかけているところです。今まで仲間とともに頑張ってきたことを全てぶつけることができるように準備しましょう。怪我や体調管理に気を付け、後悔がないようやり切ってください。76回生の活躍を願いエールを送りたいと思います。

『さあ行こうぜどこまでも 走りだせ 走りだせ 輝け 俺達の誇り 西高西高オオオオー♪』

【第3学年主任 月川 希】